

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市大倉ふるさとセンター	
2 指定管理者	特定非営利活動法人グリーンライフ東北	
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数（古民家見学者）》 ・令和3年度 8,350人（前年度比 93.2%） ・令和2年度 8,964人 ・令和元年度 10,867人	
	《事業》 ○指定管理事業 39事業（開催実施 26事業） 延べ3,446人参加 ・自然を活用した野外活動体験及び研修に関すること ・生活文化及び伝統技術の体験及び展示に関すること ・センターPRのための交流イベント ○自主及び他施設との連携事業 10事業 延べ859人参加	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 24,580千円 (24,249千円) ・ その他市が負担した費用 645千円 (807千円) 《収入》 ・ 使用料収入 421千円 (489千円) ・ その他収入 54千円 (157千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 来館者アンケート（令和3年4月～令和4年3月に実施） 古民家における伝統行事（ひな人形展示、豆まき、団子さし等）の体験が好評だった。 ・ 事業参加者アンケート（令和3年4月～令和4年3月に実施） 親子キャンプやカヌー体験、古民家コンサート等の事業について、企画内容の評価が高い。また、職員の対応については、約9割の利用者が「良かった」と回答している。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	職員全員が施設の設置目的を理解し、基本方針に基づいた管理運営がなされている。 また、地域資源をいかした自然体験会や生活体験会、地域住民との交流促進事業を計画、実施している。	24/24
II 施設の運営管理体制	施設の管理運営は仕様書に定めたとおり行われており、職員の配置も適切である。指定管理料の執行状況については、事業毎に予算書を作成し、適切に処理されていることが確認できた。 個人情報保護や情報セキュリティ対策については、日常のミーティングにおいて職員間で確認している。 事故・災害への対応については、定期的に研修や訓練を実施するとともに職員の役割分担が明確にされている。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設の備品は備品管理簿に基づいて適切に保管されている。 また、建物や設備は職員が日常的に巡回・点検しており、適切な管理がなされている。	24/24
IV サービスの質の向上	職員の接客マナーや受付案内は、職員間で共通の認識を持っている中で親切丁寧な案内がなされている。 利用者への情報提供は市政日より、ホームページ、Twitterを通じて積極的に行われている。 また、施設に対する苦情は非常に少なく、良好なサービス水準が保たれている。	28/28
V 施設固有の基準	施設の貸出や使用料の徴収について、適切な処理がなされている。また、市民のニーズを捉えた事業を企画・実施するなど、新規の利用者を増やそうとする姿勢が見受けられる。	14/14

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人グリーンライフ東北）による自己評価》
<p>令和3年度は、昨年度に続きキャンプブームの後押しもあり、日中や冬期間のキャンプの利用者が大幅に増えており、コロナ禍でも屋外で気軽に楽しめることから利用申込みが相次いだ。そこで、感染症予防の観点から貸出区画数を制限しながら利用者に手指消毒への協力を求めたり、室内の換気やシャワー室の利用時間設定の実施、使用した部屋の除菌、空間除菌機器の追加導入などの対策を講じた。</p> <p>また、イベントの開催にあたっては、開催時間や回数などを見直しながら新規事業として若い方に人気のSUPを開催した。一部、天候不順で中止した事業もあるが、指定事業・自主事業を含めた事業を開催する事ができた。</p> <p>古民家を活用した事業においては、ひな人形の展示や七草、節分の豆まきなどの季節行事を感染症対策のため規模を縮小したり、一部の内容を変更（「七草」では令和3年度も食材を配布し各家庭で調理し味わってもらおうように変更）しながらではあるが開催した。</p> <p>地域間交流事業として、作並振興協会・宮城西市民センター・大倉四季探検実行委員会と事業協力をを行い、雪遊び、スノーシューでの里山探索やダムでの鯉のぼり展示などを共催した。今後も地域の団体とのイベントを共催し連携を深めて、地域交流を図っていききたい。</p> <p>大倉地区の人々との交流イベントとして開催している「倉人祭」は、令和元年から3年続けて中止となった。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、各年代の方々に楽しんでいただけるよう地域の特色を生かしたイベントを企画していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休館やイベントの中止・縮小を余儀なくされる中、感染防止対策を施しながら着実に管理業務を実施しており、協定書や仕様書に定める水準を確保している。</p> <p>さらに、地域の関係団体と協力し、積極的に自然体験、生活体験をはじめとして地域の交流事業を企画・実施し、様々な学びの場を提供したことは、高く評価できる。</p> <p>施設・設備については、日頃から来館者が快適に利用できるよう環境の整備に努めており、適切な管理が行われている。</p> <p>職員の対応については、キャンプ利用者への丁寧な説明やTwitterなどによる情報提供が利用者から好評を得ており、アンケートでは、接遇マナーに関し、約9割の利用者が「良かった」と回答があることから、今後も親切丁寧な対応が期待できる。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、各居室やシャワー室の除菌のため空間除菌機器を増やし、除菌効率や除菌時間の短縮を図った。</p> <p>イベントの開催時には、募集人数を制限する一方で開催回数を増やすなど、感染防止と事業実施を両立させるための工夫を続けている。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局生涯学習部生涯学習課